

## 目指せ、大学生作家！ 高度な文章作成能力を養成し“書くこと”を仕事にする 大谷大学「文藝塾」を2015年4月よりスタート

芥川賞作家・津村記久子氏、リリー・フランキー氏、白岩玄氏ら第一線で活躍する講師を招聘  
「文藝」の現場を伝え、人の心を動かす文章実践を指導

■第1回「文藝塾講義」 4月7日（火）16:20～19:30

■第1回「文藝塾セミナー」4月23日（木）18:00～19:30

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町/学長:草野 顕之)は、自信をもって社会を生きてゆくためのリテラシーをふまえ、主体的に自己表現ができる高度な文章作成(文章実践)能力を身につける機会と場所を提供する「文藝塾」を、2015年4月よりスタートします。

大谷大学は、本学グランドデザインにおける人物養成の基本目的を「社会を主体的に生きることのできる人物を育成する」と設定し、現代社会に不可欠な文章作成能力の養成に力を注ぐ教育方針を打ち出しています。

「文藝塾」における「文藝」とは、文章を用いた様々な表現内容と方法によって人の心を動かす文章実践です。「文藝塾」では、作家志望の学生をはじめ、“書く仕事”をめざす学生達が参加して、本格的な文章実践能力を身につけるとともにキャリアイメージを高めていきます。

### ■「文藝塾講義」では、芥川賞作家・津村記久子氏、リリー・フランキー氏、白岩玄氏らを講師に招聘。

作家、ライター、記者、翻訳家、編集者など“書くこと”の専門家を講師に迎え「文藝塾セミナー」も開講。

1～3学年を対象とした授業「文藝塾講義」は、「文藝」という文章実践の多様性と奥深さを知り、文章実践への理解を広げ深めることをテーマに開講する講義です。本学卒業生でもある芥川賞作家・津村記久子氏(作家)をはじめ、リリー・フランキー氏(作家・イラストレーター)、白岩玄氏(作家)など第一線で活躍する外部講師を招聘します。

また「文藝塾セミナー」では、ライター、記者、翻訳家、編集者など“書くこと”の専門家を講師に迎えたリレー形式の講座を前後期各5回ずつ開講。学生の実践的な“書く力”の向上と、卒業後の進路選択に対するモチベーション醸成をめざします。「第1回文藝塾セミナー」は、4月23日(木)18:00～19:30。日本映像翻訳アカデミー 学校長 新楽直樹氏を講師に迎え、映画やDVDなどの「映像翻訳」の世界についてお話いただきます。

### ■文芸コンテストへの参加支援や、優秀な文芸作品への出版助成をめざします。

「文藝塾」は、参加学生が書いた作品に対するアドバイスを得る、評価される機会を提供します。学内外の文芸コンテストや懸賞等の情報・資料収集と参加支援などの各種サポートをはじめ、将来的には優秀な文芸作品への出版助成をめざします。

### ■新学舎に「文藝塾」スペースを設置して個別相談、専門家やアドバイザー、志を同じくする仲間と交流。

2016年9月に完成予定の新学舎に「文藝塾」専用スペースを設置します(本年度は響流館に「文藝塾」のスペースを設置、週1回のペースで担当教員らが個別相談)。

講師として来校する専門家やアドバイザーの個別相談、志を同じくする仲間たちが集い交流する場を提供します。

また「文藝塾」が主催する講演会の一部を地域に公開し、広く文藝活動に関心を持つ社会人、高校生、卒業生などに参加できる講座を展開するほか、高校生対象の文芸コンテストなども開催します。

大谷大学は、「文藝塾」事業の取り組みを通じて、津村記久子氏に続くプロ作家の輩出をはじめ、高度な文章作成能力を様々な職業において活かす人物を育成していきます。

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学企画課 植垣・後藤・兵頭 TEL:075-411-8115 FAX:075-411-8149

大谷大学広報デスク(プランニング・ポート内)福嶋・井上・西川 TEL:06-4391-7156 FAX:06-6110-7759

大谷大学HP <http://www.otani.ac.jp/>

※「文藝塾講義」、「文藝塾セミナー」等ご取材にお越しいただける方は、会場準備等の都合がございますので、前日までに上記広報デスクまでご連絡願います。

# 「文藝塾」概要

■開設:2015年4月

■目的:自信をもって社会を生きてゆくためのリテラシーをふまえ、学生が様々な場面で主体的に自己表現できる高度な文章作成(文章実践)能力を身につける機会と場所を提供する。

■受講者:文藝塾講義30名程度(文学部の正規授業として開講)、文藝塾セミナー20名(受講者公募形式)を想定

■事業コンセプト:

- ①自己表現を仕事に活かす方法を自覚する機会の提供
- ②書いたものに対するアドバイスを得る、評価される機会の提供
- ③書くことを仕事としたい学生たちが集う場の提供

■内容:①自己表現を仕事に活かす方法を自覚する機会の提供

- ・「文藝」を生業として第一線で活躍する講師を招聘した授業「文藝塾講義」(前後期15回/不定期)、書くことを職業とする様々なジャンルの専門家によるリレー形式の「文藝塾セミナー」(月1回)の開講。
  - ・授業終了後、講師と学生の対話機会の提供。
  - ・作家、記者、編集者等によるセミナー・講演会等の開催。
- ②書いたものに対するアドバイスを得る、評価される機会の提供
- ・文藝塾スペースにアドバイザーが常駐し、個別相談の実施。(※2016年9月より本格実施予定)
  - ・文芸コンテストや懸賞等の情報・資料収集と参加支援。
  - ・優秀な文芸作品への出版助成をめざす。
- ③書くことを仕事としたい学生たちが集う場の提供
- ・文藝塾スペースにおける専門家やアドバイザーとの交流。
  - ・文藝塾スペースにおける、志を同じくする仲間との交流。

## 「文藝塾講義」について

「文藝」という文章実践の多様性と奥深さを知り、文章実践への理解を広げ深めます。「文藝」を生業として第一線で活躍するプロ作家を講師に迎え、人の心を動かす文章実践についてお話いただきます。

【今後の講師予定】

麻木未徳氏(作家)、津村記久子氏(作家)、白岩玄氏(作家)、木爾チレン氏(作家)、リリー・フランキー氏(作家・イラストレーター)らの招聘を予定。

第1回講義(全体ガイダンス) 2015年4月7日(火)16:20~19:30

## 「文藝塾セミナー」について

作家・編集者・記者・翻訳家など、「書くこと」を職業とする外部専門家を講師に招聘しリレー形式の講義を展開します。「読み書き」に携わる様々な分野の職業人を招いて、学生の実践的な「書く力」の向上と卒業後の進路選択に対するモチベーション醸成をめざし、前期5回、後期5回の開講を予定しています。

作家、ライター、編集者、新聞記者、コピーライター、翻訳家などを講師に予定しています。

【今後の講師予定】

萩原広告事務所 萩原健次郎(コピーライター・詩人)  
PHP研究所 常務取締役 安藤 卓(編集者)  
大広関西 コミュニケーションデザイン局 部長 別所正章(コピーライター)  
ホトギス同人会会長・真宗大谷派前宗務総長 安原 葉(本名:晃 俳人)らの招聘を予定。

第1回「本当に「読み書き」できていますか?—映像翻訳の世界—」

日時:2015年4月23日(木)18:00~19:30

講師:日本映像翻訳アカデミー 学校長 新楽直樹氏

内容:映画やDVD、衛星放送など国内外の映像作品を翻訳する際には、語学力だけでなく、様々な文化や習慣についての知識、また作品全体における場面状況を把握して表現するセンスが必要になります。このような能力をどのように修得していくのかを講義します。